

ぶどう園でも大きな豪雪被害

日本共産党議員団は22日、橋本前市議を含めた4人で浦川原区の山本ぶどう園を訪れ、豪雪被害の状況を視察しました。



山本ぶどう園は、浦川原区の「山本山」で約20戸の農家がデラウェアやキャンベル、種無し巨峰、シャインマスカットなどを栽培しています。

この園では、1月の降雪でぶどうの棚がたいへんな被害を受けました。通常の降雪であれば、ぶどうの木に積もった雪を丹念に落とすことで、木を雪から守ることができるのだそうですが、今回は短期間の異常降雪で間に合わず、多くの木が雪の重みで傷んだほか、棚の針金がいたるところ破損していました。この日も、2メートル以上の積雪が残っている中、各農家は復旧作業に必死に取り組んでいました。

行政からの支援策は、栽培面積や共済加入の有無、資材調達の手続きなど、支援を受けるための条件が実情に合わない厳しさがあるとのこと。例えば、未だに多くの積雪がある中で、被害を受けた棚の柱を個別に調べて図面にすることが求められるなど、事実上不可能な実態があるようです。

議員団はこうした現場の声を行政に伝え、実態に即した実効性のある支援策を一刻も早くとるよう求めていきます。



佐渡汽船 厳しい現状を報告

市議会文教経済 常任委員会

22日に行われた市議会文教経済常任委員会(上野公悦委員長)では、佐渡汽船の現状について、次のように報告されました。

- ◆佐渡汽船(株)の昨年12月期決算は、新型コロナウイルスの緊急事態宣言を受け、輸送量の大幅減少で売上げが激減し、債務超過に陥った。
- ◆同社は役員報酬の減額や有価証券の売却など種々の経営改善に取り組んだが、債務超過の解消には至らなかった。
- ◆昨年策定した「経営改善計画」により、収支改善、利用促進に努め、収益確保に取り組んでいく。
- ◆小木直江津航路は「あかね」に替わり、ジェットフォイル「ぎんが」(4月29日〜10月31日)を就航させることを決定し、今月10日から予約受付を開始している。
- ◆「あかね」は譲渡する方針であり、国内・海外で売却先を探しているが、新型コロナウイルスの影響もあり、現時点で売却先、売却時期等については未定となっている。

◆当市としては、「あかね」の売却先等が確定し、同社の経営状況を確認した上で、補助金の返還と併せて支援を検討することとしているので、来年度当初予算では支援経費の計上を行わなかった。

これに対して委員からは、支援の予定や内容を問う質問などが出されました。

対して市は、「基本は、『佐渡汽船が小木直江津航路を維持すること』。そのため支援が必要」「観光振興では市内の店舗立ち寄りや宿泊を条件にした旅行商品への補助などを行う」「佐渡航路が我々にとつてどういう意味があるかを再確認しながら、(支援に関する)議論の厚みが出るようにしたい」などと答えました。

上野議員が総括質疑

3月議会では、市長による議案の提案の後、上野議員が総括質疑(議案の内容についてただすこと)を行います。

質疑の主な内容は、次の通りです。

- ◆PCR検査を社会的検査に拡充しなかったのはなぜか。
- ◆ワクチン接種体制をどう整備するのか。

- ◆豪雪で倒壊した農業用ハウスの復旧にあたり、撤去や処理をどうするのか。
- ◆水族博物館の鯨類飼育展示施設の機能向上では、検証委員会の提言をどう反映させたのか。
- ◆原子力災害の実効性ある避難体制の確立はいつまでにどこまでやるのか。

上越保健所管内感染症患者発生状況

(2月19日現在)

PCR検査実施件数 5248件(前週+186)
 感染症患者数 43人(上越市内39人)
 陽性率 0.82%

日本共産党上越市議員団ニュース

No.696 2021年2月28日

連 橋爪 法一 090-5392-1961(吉川区代石)
 絡 上野 公悦 090-7260-9407(頸城区中柳町)
 先 平良木 哲也 090-1808-6919(上中田(金谷区))